

児童発達支援自己評価表【事業者用】令和4年度なりほdeれみそらし

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・訓練室、遊戯室はそれぞれ30㎡あり、国の基準である児童ひとり当たり3㎡を満たしており、指導員からの目が届くような作りとなっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・児童10人に対して指導員2人という国の基準以上の職員を配置しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか		○		・各室は平面であるが、トイレへの前に段差があり、手すり等の補助具を検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・業務の質の向上と効率化を図るためPDCAサイクルを生かし、全職員が日常の中に取り入れていく。ただし、Checkでは、旧態依然に留まらず常に最善を考えて次に向かう姿勢を持っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・事業所アンケート調査にご協力いただき、職員間で結果を共有、改善に取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・HPIにて公表します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・保護者評価と法人による評価を受けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・職員が自由に研修に取り組める体制を整え専門性のキャリアアップを目指している。お互いの支援のスキルを高められるように内部研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・保護者の意向の聞き取りを丁寧に行い、個別の児童発達支援計画を立てていく。また定期的な見直しも図る。
	10	児童発達支援ガイドラインに基づき、児童発達支援計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			・児童発達支援ガイドラインの児童発達支援の提供すべき支援に沿った支援の内容と個別支援計画を作成している。
	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・保護者の意向に沿いながら、個々に合わせた支援計画を作成している。
	12	児童発達支援計画に沿った適切な支援が行われているか	○			・療育終了後には、保護者のモニタリングを実施し、また職員間での定期的な支援の見直しを図っている。
	13	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・1か月の予定を立て、また毎日朝の打ち合わせを行っている
適切な支援の提供 (続き)	14	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育のふり返りは、担当者を中心にふり返りと課題について話し合っている
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・支援者と記録者を別に定め、複数の職員の間で見て、PDCAサイクルで改善に繋げている。
	16	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・期間を決めてモニタリングとケアプランの見直しを行っている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	18	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			・積極的に連携している。
	19	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○			
	20	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・都度発達支援センターとの連携を図っている。
	21	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			・保育園、幼稚園との交流を図っている。
保護者への説明責任等	22	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明している。ご不明な点については、その都度説明している。
	23	児童発達支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			・児童発達支援計画が保護者の意向に沿ったものか定期的に確認している。
	24	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・なるべく療育を参観していただき、課題について保護者の皆さまにもご家庭で取り組んでいただくようお願いしている。
	26	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・いつでも相談を受けられる体制があり、お話を伺い一緒に解決の道を探す姿勢があります。
保護者への説明責任等(続き)	27	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	28	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情解決窓口を設置して、対応に努めている。
	29	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・ご家庭ごとに違うため、細やかに配慮していく。
	30	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		
	31	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報に関する書類は、鍵のかかる書庫に保存している。
	32	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルをいつでも見られる場所におくようにする。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
非常時等の 対応	33	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		・訓練を定期的に行っていく
	34	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		・虐待については、事例や人権擁護のチェックリストを使いながら、日々研鑽を積んでいる
	35	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	36	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・食事の提供はないが、おやつ提供が今後考えられるので、マニュアルを作成していく
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		・している。